

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	教育局	
関係部		

基本施策	1-2 教育日本一を目指し教育内容を充実する
個別施策	② つくばスタイル科の充実
個別施策の方向	今後さらに発展する科学や情報化技術に対応していくため、つくば市の特色をいかし、市内研究機関や大学等と連携協力しながらICT教育や科学教育を推進する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	168,310	人件費	16,066	事業コスト	184,376			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	206,986	人件費	17,976	事業コスト	224,962			
	事業費内訳	国庫支出金	2,428	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	201,231	人件費	18,890	事業コスト	220,121			
	事業費内訳	国庫支出金	1,695	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H30年度	決算	事業費	207,620	人件費	18,327	事業コスト	225,947			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	32.5%	36.8%	4.3%
13) ICT教育や科学教育の充実			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>市内全域での条件整備を進められたい。</p> <p>児童、生徒の適正に応じて、相応しいICT教育を進められたい。</p> <p>また、つくばスタイル科の内容はICT教育に関するカリキュラムのみではないことから、ICT教育の推進について、つくばスタイル科の推進という施策で特出せず、教育環境の整備等の個別施策において評価すべきである。</p> <p>さらに、つくばスタイル科の内容を検証しながら施策を進められたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>市独自の教科であるつくばスタイル科の充実を図るため、学校のICT環境を整備するとともに、ICTを活用した「わかる授業」を目指す。</p> <p>大学や研究機関等と協力し、青少年の科学への関心を高め、科学する心を育む。</p>
施策の 成果	<p>教育用ICT機器の整備及びICT教育に関する研修会の実施により、つくばスタイル科の充実した学習環境を設けることができた。また、つくば科学出前レクチャー事業を実施し、児童、生徒が科学に触れる機会を設けることで、科学教育の推進につながった。</p> <p>つくば科学フェスティバルでは、来場者アンケート回答者のうち95%が「楽しかった」と回答しており、児童、生徒をはじめ、市民の科学への興味関心を高めることができた。また、つくばちびっ子博士は認定基準を見直したことで、前年と比較して研究機関への延べ来場者が7,096人、パスポート提出者が1,246人の増加となった。</p>
課題と 改善目標	<p>つくば科学出前レクチャー事業については、児童、生徒が科学に触れる機会を増やすため、各校への事業の周知が必要である。</p> <p>つくばちびっ子博士事業については、継続して市民の科学への興味関心を高めていくことが必要であり、来場者及びパスポート提出者の更なる増加のため、見学施設を増やす。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。